都市基盤整備計画の全体像

『安全でわかりやすく便利な駅へ』（鉄道施設）

Safe, Easy Access and Convenient Station

駅の安全性が向上

・東急東横線地下化の跡地利用により、安全な駅への再編が実現
・東急東横線と地下鉄副都心線が相互直通運転することにより利便性が向上

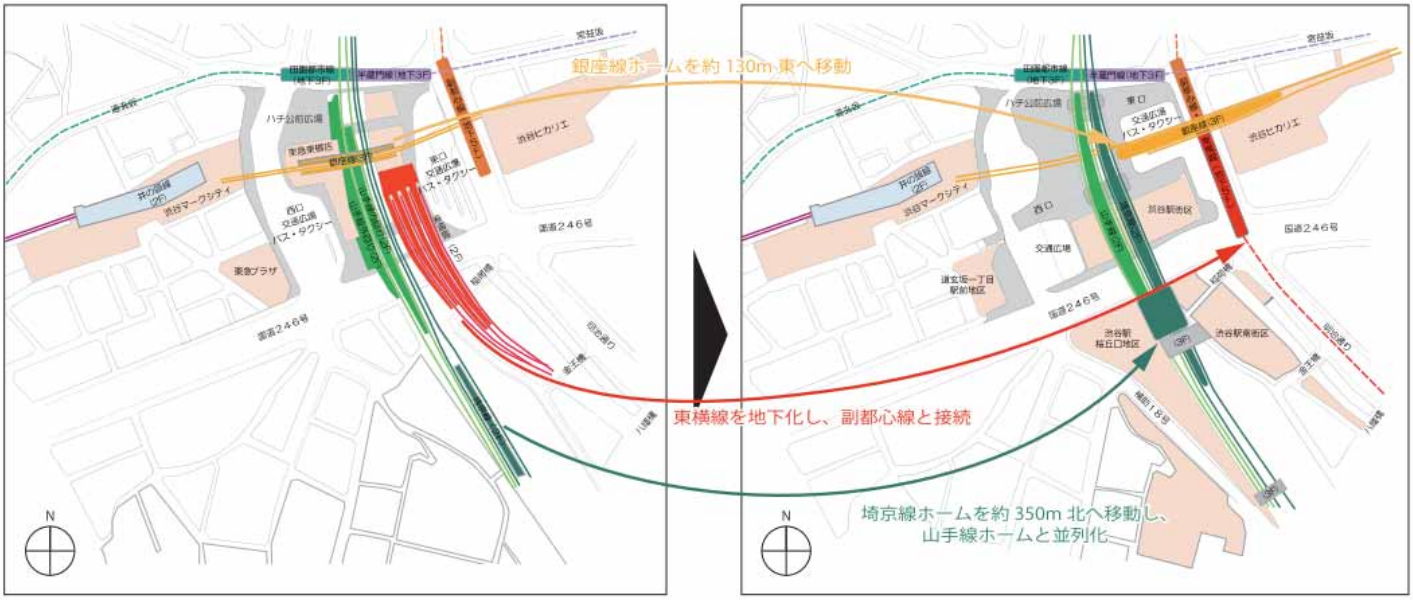
埼京線の乗換えが楽に

・ＪＲ埼京線ホームが北へ移動し、ＪＲ山手線ホームと並列化され、同時に各線との乗換え利便性が向上

銀座線と JR 線の乗換えが楽に

・地下鉄銀座線ホームを東へ移動することにより３階で地下鉄銀座線と JR 線の乗り換え利便性が向上

副都心線開通時 【平成 23 年度（2011）】　　将来設計 【平成 39 年度（2027）】



【駅の安全性が向上】

東急東横線が平成 25 年に地下化され、副都心線との相互直通運転が開始され、渋谷へのアクセス性が高まりました。また、地上にあった東横線渋谷駅の跡地を利用し、老朽化した駅施設の建て替えを進めることで災害時にも安全性が向上します。

【埼京線の乗換えが楽に】

ＪＲ埼京線のホームを今より約３５０m新宿方向へ移動し、ＪＲ山手線のホームと並列化します。これにより、埼京線と各鉄道との乗換えが便利になります。
また、島式ホームとし、ホームの幅も広がり、利便性が向上します。

【銀座線とＪＲ線の乗換えが楽に】

現在、東急東横店の中にある東京メトロ銀座線のホームがヒカリエ側に約１３０m移動します。このことにより、３階にできる東京メトロ銀座線の改札口とＪＲ線の改札口が近くなり、スムーズに乗り換えるができるようになります。
また、東京メトロ銀座線は、ヒカリエ側にも改札口を設置し、東急東横線や東京メトロ副都心線などの地下鉄との乗り換えも便利になります。